

報告者名
報告年月

| |
|---------------------|
| 宮崎県中小企業団体中央会 |
| 令和5年7月 |

情報連絡一覧票

| | 集計上の分類業種 | 具体的な業種 (産業分類細分類相当) | 組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点) |
|------|----------|--|---|
| 製造業 | 木材・木製品 | 製材業 | 原木は、梅雨による天候不良で出材量が減少したが、買い気が増すこともなく下げ基調の相場である。長引く住宅需要の低迷の影響が大きく、輸出材やバイオマス発電向けのいわゆる低質材の相場の下支えで何とか底抜けを免れている。製品の方も売れ行きが悪く、先行きの荷動きが活発になる兆しは全く見えず、価格は値下げ基調である。 |
| | 木材・木製品 | 製材業(プレカット) | 7月の実績は加工棟数は前年比83%であったが、加工面積は前年とほぼ同じ(99%)であった。住宅の加工実績が減り、面積の大きな非住宅が増えたためである。こここのところこのような傾向が続いているが、年内はこの傾向が継続していくと考えている。住宅用の加工設備は余力があるものの、非住宅用の加工設備は能力が全く足りておらず、近い将来増設を検討する時がきそうである。 |
| | 木材・木製品 | 木製品製造業 | 変わらず厳しい状況である。 |
| | 印刷 | 印刷・同関連業 | なかなか業績が上がらない。印刷需要が回復していないのか、情勢が「紙離れ」に向かっているのか、今一度見直さなければならないと思う。 |
| | 印刷 | 印刷・同関連業 | 業界全体的に売上金額は伸びているものの、それを上回って原価が上昇しているため、各社利益の確保に困窮している状態である。官公庁の入札においても、原材料の高騰分が反映されていると言いがたい。 |
| | 窯業・土石製品 | 窯業・土石製品製造業 | 7月出荷量は昨年よりは増加しているが、全体的に低調な出荷が続いている。大きな物件の見積もり依頼はあるが、全て昨年度からの出荷となる。 |
| 非製造業 | 小売業 | 小売商業 | 大雨の影響で県外産の入荷が少なく、特に葉物野菜など品が悪いうえに値段も高い。全体的に商品の値段が高いので、売上高としては増加しているが、赤字覚悟で価格設定することもあるので利益は出ない。 |
| | 小売業 | LPGガス小売販売業 | 7月合成CP価格(サウジ通告価格)は425 ^{ドル/トン} (前月比△77.5 ^{ドル/トン})。6月MB価格(米国産平均価格)+(物流経費84 ^{ドル/トン})は378 ^{ドル/トン} (前月比△40 ^{ドル/トン})。対顧客電信売相場(6月平均)は142.27 ^{円/ドル} (前月比+3.84 ^{円/ドル})。5月中旬より続いているサウジアラビアの石化プラントトラブルによる輸出増により供給過多の環境となったことが、下押し要因となり相場を押し下げた。 |
| | 商店街 | 延岡市 | コロナ終息間近による急速な景気回復で、売り上げなどは好調である。しかしその反面、深刻な人手不足に直面している。 |
| | 商店街 | 宮崎市 | 猛暑、天候不順が続く、来店客数がさらに減少し売り上げが回復しない。 |
| | 商店街 | 都城市 | 各店舗順調に売り上げも回復しつつあるが、ここきて中型、大型店舗での人出不足が深刻になってきているようだ。需要に供給が追いついていない状況がますます色濃くなってきた。それにまして、コロナの感染が広まってきていて少ない従業員で回している店舗では追い打ちをかけられる感じになっている。燃料などの単価もじりじりと値段が上がっていて、製造関連では利益を圧迫している。 |
| | サービス業 | 観光業 | 7月はオフシーズンだが、例年よりバスの動きが多く、九州の方を飛び回った。コロナ禍を脱しつつある証と思いが難く仕事をさせてもらった。しかし、未だ感染リスクは高いので、対策を講じながら日々の業務を行っている。 |
| | サービス業 | 自動車整備業 | 今月の車検入庫は前年度並みであった。暇だと感じる日はあったが、忙しいと感じる日はなかった。板金塗装(事故車)の入庫が少なかった。 |
| | サービス業 | 自動車車体整備業 | 原材料価格(塗料、副資材)の上昇が続いている。 |
| | サービス業 | 自動車運転代行業 | ガソリン他すべてにおいての仕入れ値が上がっており、収益を逼迫させている。従業員の確保が非常に困難になっている。 |
| | 建設業 | 管工事業 | 7/3(月)全国管工事業協同組合連合会第63回通常総会、全国大会が松山市にて開催され、災害時の応援体制の強化および担い手不足対応に関するスローガンが採択された。 7月27日(木)九州管工業組合連合会第61回通常総会、福岡県大会が福岡市にて開催された。 公道工事が前年に続き減少傾向、大型工事が少ないこと、新設着工戸数の減少が原因のひとつと考えられる。 |
| | 建設業 | 管工事業 | 人手不足は依然として解消されず、また最近の猛暑により現場作業環境の悪化が心配される。 |
| | 運輸業 | 軽貨物運送業 | 燃料高騰の影響で厳しい環境が続いている。荷主に対して費用が増加している説明をしても、運賃に転嫁できないのが現状であり、今後も厳しい経営環境が続くものと思われる。組合員の高齢化、後継者不足、人手不足等悩みをあげたらきりがないが、行政からの後押しに期待しながら、一つ一つ改善する努力をしていく必要があるのではと思う。 |
| 運輸業 | 貨物運送業 | 中国政府が景気刺激策を検討していることや、米国内稼働石油掘削リグの減少などにより原油価格は上昇するのに加え、燃料油価格激変緩和補助金の縮減となっていることにより、国内市場価格は値上げが見込まれており、組合員の先行きには暗雲が立ち込めている。 | |